

平成23年度 大学の世界展開力強化事業構想の概要【米国大学等との協働教育の創成支援】

大学名	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
構想名称	グローバルイノベーションデザイン・プログラム
相手大学等名 (国名)	Pratt Institute (米国), Royal College of Art (英国)

【構想の目的及び概要】

知識社会から創造社会へと地球規模で社会構造が変化する現代においては、国際的な視点に立つて社会的ニーズを見つけ出し、飛躍的な創造性により社会にイノベーションを提供できる人材が求められる。デザイン分野の社会的役割としても社会を創造的に変化させる基軸となることが期待されており、特に先端的なグローバル企業においては、デザイン分野で培われた思考・発想法を社会の問題解決へと役立てる「デザイン思考」と呼ばれるイノベーション達成手法が着目されるようになり、デザインイノベーション主導の事業戦略を創出する CCO: Chief Creative Officer が任用されるなど、創造的な思考に基づいてイノベーションを創出できる国際的な人材：「グローバルイノベーションデザイン・リーダー」が求められている。

グローバルイノベーションデザイン・プログラム（以下、GID プログラム）はグローバルイノベーションデザイン・リーダーの育成を目的とし、米国（Pratt Institute | ニューヨーク）・日本（慶應義塾大学 | 東京）・英国（Royal College of Art | ロンドン）という3大文化産業圏に立地する大学が協働して実施する国際連携教育プログラムである。本大学、Pratt Institute(以下 Pratt)および Royal College of Art (以下 RCA)は、イノベーションデザイン教育の分野においてそれぞれ日、米、英における先導的立場にあると認められる大学である。学生は、本学では伝統ある起業家精神のもと、特にネットワーク・デジタル技術を核とした新産業分野でのデザインとビジネスのアプローチを学ぶ。また Pratt では米国デザイン大学ランキングで上位に位置するトップスクールであり、ここで米国の最先端マーケットに通用するデザイン力に加え、流動性に富んだマーケットへの対応力を身につける。さらに RCA はイノベーションプロダクトで著名なダイソン等を輩出するイギリスのトップアートスクールであり、ここでは併設された工業大学との合同教育によって培われたデザイン・エンジニアリングの手法を学ぶ。3大学の特色ある教育を組み合わせることで、世界的に類のないイノベーションデザインのための最高峰の教育体制を実現することができる。また学生はこれら各拠点に半期ごと滞在するトランス・ナショナルなプログラムの中で、文化理解や人材交流を深め、国際的な人的ネットワークの構築を目指す。特に米国を中心とした先端産業分野においてコミュニケーションの障壁なく活躍できる人材は重要であり、英語では語学力のみならずコミュニケーションでの表現力を重要視する。GID プログラムは全課程を英語のみで実施するプログラムであり、修士課程学生を対象としたメインプログラム、および学部学生を対象としたショートプログラムを有する。

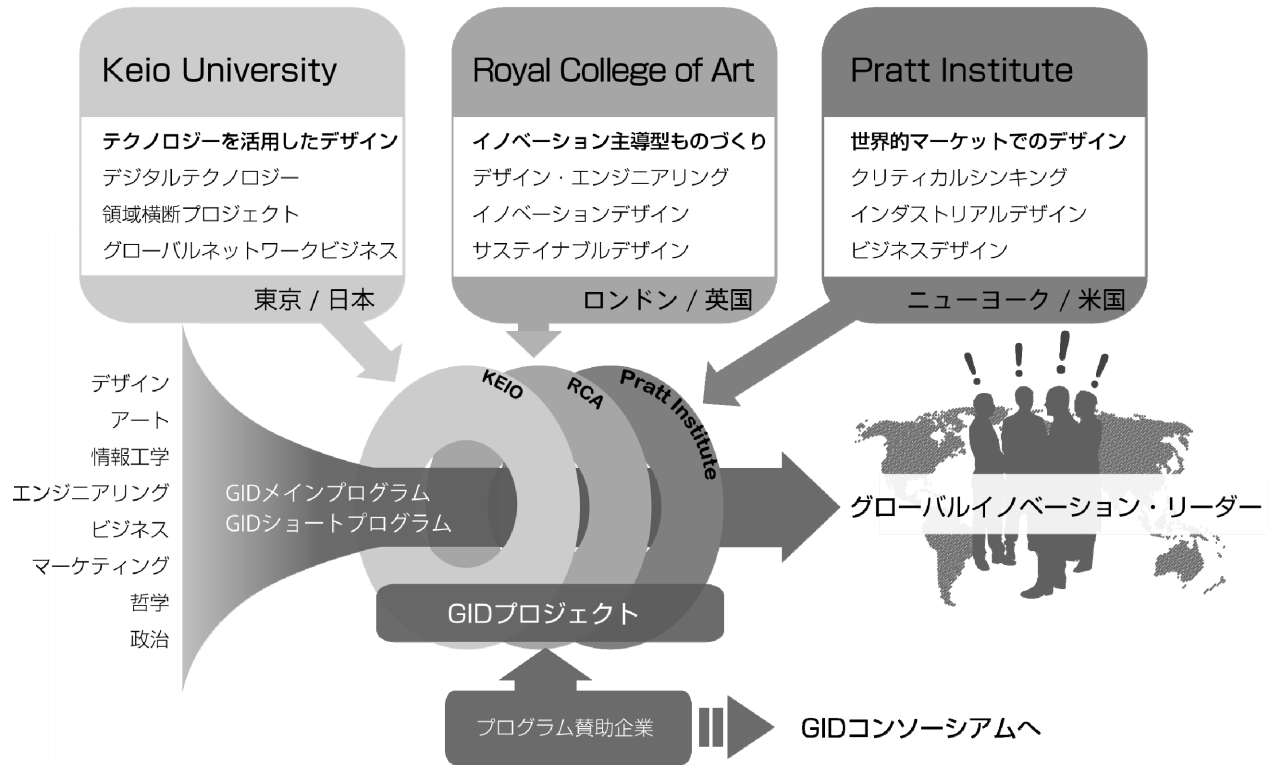
メインプログラム：2年半に及ぶ GID メインプログラムでは、文理の区分なく幅広い分野から国際的な学生募集を実施し、入学者の最終判定は3大学合同運営委員会が行う。入学した学生は、本学・Pratt・RCA のいずれかの修士課程に配属され、所属校で1年間学んだ後、提携校に各半年間（合計1年間）留学する。留学中の取得単位は厳格に成績管理されたカリキュラムの下、所属校で認定され、留学後の5学期目は所属校に戻り修士論文やプロジェクトを完成させる。修了時には3校合同で開催する審査会においてプロジェクトの成果を披露し、企業からの参加者にも訴求できるようメディアを活用したプロモーション活動も行う。以上2年半のカリキュラムを修了すると、本学の所属学生は修士（メディアデザイン学）の学位に加え、3校合同名義による GID サーティフィケートが授与される。

ショートプログラム：GID ショートプログラムは本学および他大学の学部生を対象者とし、米国 Pratt で夏期休暇中の1週間程度開催する導入教育プログラムである。学生は提携3大学の講師が共同で提供する実践型の講座に参加することで、コミュニケーション能力の向上のみならず、デザインイノベーションの考え方を体験的に学ぶとともに、現地の学生と交流し国際的な文化差の理解や国際的感覚を養う。本プログラムは外部評価委員会を含めた公正な評価体制によるカリキュラムの持続的な改善、および事業としての安定継続を担保できる体制作りを進めながら、5～10年後の世界的な先端的プログラムとなることを目指す。本プログラムの成果は、グローバル化戦略の一例として、国内の他大学とも知見を共有するため、シンポジウムの開催、ウェブサイトでの公開、GID プロジェクトの成果報告会等を積極的に行う。

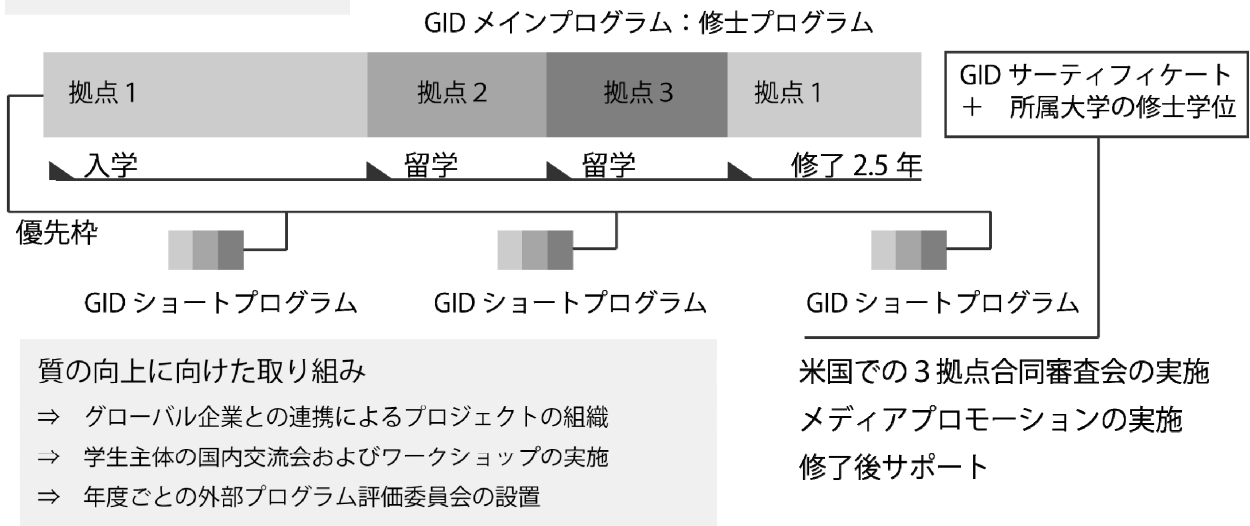
平成23年度 大学の世界展開力強化事業の概要【米国大学等との協働教育の創成支援】

【構想の概念図】

GID プログラムの取り組み



基本カリキュラム構成



GID プログラムの特色

- 革新的な修士プログラム
- 3拠点による巡回型教育
- 拠点ごとの特徴を生かした教育システム
- グローバルマーケット拠点

学生のメリット

- 統合的で高度なイノベーション教育
- 3拠点の異なる文化圏の体験
- グローバルマーケットでの実体験
- 国際的なコラボレーション体験

クオリティ

- 世界的なリーダー校での教育
- GID サーティフィケート
- 単位互換による修士学位
- 3大学合同審査会

平成23年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	慶應義塾大学
タ イ プ	B-I
構 想 名	グローバルイノベーションデザイン・プログラム
<p>〔評価コメント〕</p> <p>これまでの教育・研究活動から得られた知見に基づき、十分に検討された意欲的な構想である。今後、グローバルイノベーションデザインという分野が重要度を増していくという主張の妥当性についても説得力がある。また、マルチディグリーを視野に入れつつ、3大学共同のサーティフィケートプログラムからスタートするという現実的な手法をとろうとしている点も着実であり、評価できる。</p> <p>なお、リーダー的素養のある人材育成においては、高い英語力を有しているだけではなく、イノベーションにかかわる素養をもっていることが重要と思われるので、対象学生の選抜など、プログラムの実施にあたっては十分に注意していただきたい。</p>	